



学校だより

開 桜

12月号

令和6年11月28日

大田区立開桜小学校

校長 森 伸一

～一年を振り返り、そして今後に向けて～

副校長 棚瀬 和子

2024年も残すところあと1か月となりました。今年はパリでオリンピックが開催されたり、LA 大谷選手の50-50が達成したり、世界的に話題となった一年でもありました。みなさんはどんな一年でしたか。

11月10日には、第19回ポレポレエコまつりが本校で開催されました。こども交流センターを中心とし、江戸からつながるSDGsとして催され、たくさんの方が参加されました。開会式後は、よさこいから始まり、様々なイベントやおみこし・エコを考えた出店が数多くありました。こどもたちは学校生活とはまた違った笑顔で一人ひとりが活躍をしていて、見ている側も元気をもらいました。子ども交流センターをはじめ、放課後ひろばやPTAの方々・地域の方々に大変お世話になりました。ありがとうございます。私は先日廃棄物処理管理者講習を受け、改めて一人ひとりのエコに対する考え方を減らす努力が必要だと学びました。「ポレポレエコまつり」そのものです。こどものうちから意識して取り組むことが、将来の日本を創り上げます。学校でも給食の残量を減らす・無駄なごみを出さないなどできることをやっていけたらと思います。

また、11月22日・23日の「思いを色や形に」のテーマとした展覧会においては、多くの保護者や地域の皆様に鑑賞していただきまして、ありがとうございました。一人ひとりの作品に思いが込められた力作となりました。自分の思いを表現する活動を今後も続けていけたらいいですね。12月は、PTA主催のミニ運動会や、小学生駅伝大会などの行事も続きます。今後もコミュニティスクールに向けて、教職員・保護者・PTA・地域・町会の方々と一緒に学校運営に取り組んでまいります。

最後になりますが、本校には50年前（大森第二小）に埋めたタイムカプセルがあります。石碑にも書いてあるように50年後の今年度そのタイムカプセルを開ける大イベントが只今計画中です。令和7年2月9日、10時から実施することが先日決まりました。タイムカプセルには、どんなものが入っているのでしょうか。当時、小学生だった方・また興味のある方は是非、当日本校にお越しください。お知り合いの方にもお知らせいただけますと幸いです。今年も学校教育活動にご理解・ご協力ありがとうございました。

12月の生活目標

身の回りをきれいにしましょう

生活・保健部

12月は、1年間の締めくくりの月です。学習面でも生活面でも2学期を振り返り、2学期のまとめをしたり、成果と課題を出したりして、「よいことは続けていく、できなかつたことは改善していく」など、来学期につなげていく時期となりました。

学校では、自分の道具箱やロッカーの中をきれいに整理整頓して使いやすく保つこと、みんなで使う教室や廊下を丁寧に掃除することを目標に指導していきます。

自分の持ち物や公共の物を大切にし、すっきりとした気持ちで2学期を終えられるよう、ご家庭でのお声掛けもお願いします。

4年生の様子

授業の姿勢

4年

4年生では、授業の姿勢に気を付けて、4月から取り組んできました。先生が話をしていたり、友達が発表をしていたりしても、手いじりや途中で話しが始めるなど、とにかく集中をして取り組むことができませんでした。2学期になり、少しづつ手いじりなどは減ってきましたが、やはり授業中はうるさくなることもありました。そこで、国語「ごんぎつね」の学習では、「聴き合い活動」を取り入れました。友達の話を最後まで聴いて、自分の意見を最後まで友達に伝える。この学習を通して、自分の考えに自信をもつことができ、友達の考えを聴いたいと思うようになりました。これからも友達と楽しく学習できるよう指導をしていきます。

【報告】内川出前授業・稚魚放流 4年)

4年

4年生は今、総合的な学習の一環で、地域の内川について学習しています。

そこで、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きして、内川について教えていただきました。こどもの遊び場や地域の産業である海苔づくり、水産物を届けるための船の道として使われていたことなど、生活に深く結び付いていたことに、こどもたちは驚いていました。

メバル稚魚放流事業体験では、メバルの稚魚の説明と稚魚へのタグ付けの体験を行い、東京湾へ稚魚の放流を行いました。「元気に成長するんだよ。」と声を掛けながら、放流をする姿が可愛らしかった



人権週間・生命尊重の取り組み

道徳担当

本校では、生命尊重週間（12月2日～6日）に、教育目標にある「人の気持ちが分かり、行動できる子」の育成を目指し、学校全体で相手の気持ちを考えて行動できるように取り組みます。道徳では、生命尊重にかかわる内容を重点的に指導し、命を大切にする意識を高めています。

以前、校内で募集した人権啓発の作品（標語・習字・ポスター）が集まりました。代表の作品については下記の日程で展示されますので、お近くにお越しの際には、お立ち寄りください。

「令和6年度 大田区立小・中学校 人権啓発作品展」

日時：12月3日（火）午後1時～10日（火）午後3時

※4日（水）から9日（月）は、午前9時30分から午後5時まで開場しています。

場所：池上会館

開桜小の学校給食・食育の取組

栄養士

学校給食は単なる昼食ではなく、「学校給食法」に基づき、教育活動の一つとして実施されるものです。学校給食を通して、食事の重要性、楽しさ、準備・片付けなどの食事に関わる活動、マナー、食文化、歴史、感謝の心など、多くのことを学び、身に付けることができます。そして、「食べる」という活動体験を継続的にできる、まさに「生きた教材」です。

本校では、旬の食材や日本ならではの行事食、各地の郷土料理、世界各国の料理、学校行事に合わせた献立などを取り入れ、様々な「食」に触れる機会となるように心がけています。また、「そら豆のさやむき」や「とうもろこしの皮むき」、洋食のテーブルマナーを学ぶ「マナー給食」の実施、給食掲示板の活用、給食委員会による校内放送やポスター作成など、「食」を身近に感じ、楽しんでもらえるように学校全体で取り組んでいます。今後も「食」を楽しみ、学べる機会となるような給食づくり、食育指導に努めてまいります。御家庭でも学校給食について引き続き、話題にしていただけると嬉しいです。